

1. 経済

▼投資環境の改善

・3日、レアンカ首相は、深化した包括的自由貿易協定を含む連合協定交渉が最近完了したことにより、投資家にとってモルドバへの関心が増すであろう、これは2014年には署名されるべきであるが、これらの合意を取り付けるために必要とされるアクションは市場の自由化とビジネス環境の改善である、本年以降、モルドバは国家財産による主要な民営化プログラムを立ち上げる予定であり、それゆえ、投資家にとってより多くの投資の機会を得ることができるであろう旨発言。

2. 外政

▼ヴェステルヴェルグ・スウェーデン議会議長のモルドバ訪問

・2日、ティモフティ大統領は、来訪したヴェステルヴェルグ・スウェーデン議会議長と会談し、国家近代化計画のためのスウェーデンによる財政支援に対し謝意を表明。ヴェステルヴェルグ議長は、スウェーデンは今後も支援を継続する旨発言。

・2日、レアンカ首相は、ヴェステルヴェルグ議長との会談においてモルドバの国内改革、スウェーデンによる財政支援を含む二国間関係等に関し協議。同日、ゲルマン副首相兼外務・欧州統合相は、同議長と会談し、両国協力関係及びモルドバの欧州統合政策等に関し協議。

・2日、コルマン議会議長は、ヴェステルヴェルグ議長と会談し、国家近代化関連改革の進捗状況、二国間及び地域情勢等に関し協議。

▼ベネルクス3国外相のモルドバ訪問

・5日、ティモフティ大統領は、モルドバを訪問したレインデンス・ベルギー副首相兼外相、ティーマーマンス・オランダ外相及びアッセルボルン・ルクセンブルク副首相兼外相と会談し、モルドバの欧州路線継続の決意を改めて表明。アッセルボルン外相は、モルドバの欧州路線及び改革計画に対するベネルクス諸国の支持を表明し、ティーマーマンス外相は、EUに対する義務に起因する東方パートナーシップ諸国に対するいかなる政治的・経済的圧力も容認し得ない旨発言。

・5日、レアンカ首相及びゲルマン副首相兼外務・欧州統合相は、ベネルクス3国外相と会談し、連合協定仮署名に向けた準備、EUとの査証免除問題、二国間相互関係及びモルドバへの新しい支援等に関し協議。レアンカ首相は、EUとの連合協定署名は東方の国々（ロシア等）との関係で矛盾しない旨発言し、ベネルクス外相は、モルドバの欧州統合路線を支持するとして、近隣諸国からの圧力があってもモルドバを支援する旨表明。会談後、双方は、東方パートナーシップ

諸国のEU接近の出発点となるビリニウスでのサミットの重要性、ベネルクス3国によるモルドバの欧州統合路線の支持及びEUへの査証免除の条件はモルドバ政府による義務の履行であることを確認する共同声明を発出。

・5日、コルマン議会議長は、ベネルクス3国外相との会談において、国家近代化のための改革の実施、東方パートナーシップ・サミットの見通し及び地域情勢等に関し協議。

・5日、レアンカ首相及びレインデンス外相は、ベルギー名誉領事館の開館記念式典に出席。

▼ロゴジン露副首相の来訪

・2日、レアンカ首相は、来訪したロゴジン露副首相と会談し、経済協力、沿ドニエストル問題、労働移民の状況及び両国文化関係の発展等に関し意見交換。ロゴジン副首相は、モルドバの主権及び領土一体性を尊重するロシアの立場は不変である旨表明し、ビリニウスのサミットにおいて沿ドニエストル地域の問題にどの程度言及されるかに関心がある旨発言。レアンカ首相は、EUとの自由貿易圏にはドニエストル両岸の地域が入り、全てのモルドバ国民が利益を享受できるようになることを期待している旨発言。

・2日、ラザル副首相兼経済相は、ロゴジン副首相と会談し、両国経済関係の展望等に関し協議。ラザル副首相は、エネルギー問題に関し19日にモスクワで協議する予定であり、また、EUとの自由貿易協定の対露貿易関係への影響に関し10月にロシア側との協議が行われる予定である旨発言。

・2日、ロゴジン露副首相は、キシナウで開催された欧州統合関連の会合に出席し、EUとの連合協定署名によりモルドバとロシアの協定は見直しの必要が生じ、モルドバのガス問題及び沿ドニエストル問題の解決は困難になる可能性がある旨発言。これに対し、4日、ティモフティ大統領は、モルドバには欧州統合計画があるとして、他国の指導者の声明に関わらずモルドバは右計画を実行する旨のコメントを発表。

▼その他

・5日、オニシチェンコ露主任衛生医師（連邦消費者権利保護・福祉分野監督庁長官）は、品質・安全基準に違反しているとして同庁がモルドバ産ワインの輸入制限を行う可能性がある旨発言。

3. 沿ドニエストル

▼ロゴジン露副首相のティラスポリ訪問

・3日、ロゴジン露副首相は、ティラスポリを訪問し、シェフチューク「大統領」等と会談。ロゴジン副首相は、EUとの連合協定署名は沿ドニエストル代表を含めて協議する必要がある旨発言。シェフチューク「大統領」は、キシナウは連合協定交渉時にティラスポリの関心を考慮に入れていないとして、同協定署名後ティラスポリは沿ドニエストル製品をロシア・ベ

ラルーシ・カザフスタンの関税同盟市場へ送る意向である旨
発言。

・3日、ロゴジン副首相は、沿ドニエストル「国立」大学を訪問

し、ティラスポリへの露領事館開設の必要性に関し発言。同
日、同副首相は、ロシアの援助により建設される病院の着工
式典に出席。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。
(了)